



サフラン便り

第8号 4月15日発行

アバンセフェスタ参加報告

テーマ：お薬にたちます、薬のあれこれ

開催：2月22日(アバンセフェスタ展示ギャラリー)

発行:佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

[Http://www8.ocn.ne.jp/saffron//](http://www8.ocn.ne.jp/saffron//)

イベントの内容

- お薬相談：(対応例を知りたい方はご連絡ください)
 - 薬用茶(ドクダミ)の効用・民間薬(タラ類)や漢方の長期服用の相談
 - 低用量ピルの服用注意事項・高コレステロール血症を改善したい
 - 高血圧症の日常生活の注意・目の下のシワをとりたい・更年期障害について
 - クイズに挑戦(95名の方に参加していただきました)
 - ハーブクッキー配布(ドクダミ、ヨモギ、ペパーミント、ローズマリー、ラベンダー)
 - ハーブの展示とクッキーの作り方説明
 - 薬用茶試飲(ハブ茶、ドクダミ茶、ヨクイニン茶)
 - 薬局での介護相談窓口のPR・介護保険まちかど相談薬局のパネル展示
 - 生活習慣病のパンフレット配布。高血圧症、高脂血症、骨粗鬆症、糖尿病、痛風、食物アレルギー他
- <イベントへの意見・課題>
- 薬剤師が薬局の中だけでなく、外に出てイベントを開催することで薬剤師の仕事をPRすることができた
 - 生活習慣病に対して関心が高く、薬や検査値に対してのアドバイスが必要と思った
 - 簡単なクイズではあったが、興味をもってもらうには有効な方法であった
 - 血圧計、体脂肪計等の検査器具もあったほうが良かった
 - 禁煙、肥満等テーマを絞ってみても良かったのでは・・・

(武岡委員筆)



(感想)

前日の穏やかな天気とは変わって、時折どしゃ降りにも見舞われた当日でした。手作りのハーブクッキー、薬用茶のセッティング、パネルやパンフレットの展示等準備をすませ、薬に関心のある方の来場を心待ちにしていました。「グローバル化と女性」という講演もあり、展示ギャラリーという場所も良かったせいか、対応するのに嬉しい悲鳴を上げたほどです。薬局とは雰囲気が変わりこんなイベント、ボランティアがまた出来たらと思った一日でした。(奥平)

<ドクダミクッキーの作り方>

(材料)

薄力粉	100g
ベーキングパウダー	2g
たまご	1/2個
砂糖	60g
塩	1つまみ
オリーブオイル	40g
ドクダミの葉(乾燥)	3g



- 薄力粉とベーキングパウダーをふるう
- オリーブオイルと砂糖をよく混ぜさらに卵、きざんだドクダミの葉と塩を混ぜる
- 1と2を混ぜ3cmの棒状にしてラップで包み冷凍する
- 3を1cmの厚さに切り、オーブン皿に並べ170度で13分焼く

原案は佐賀市徐福館倉成館長(前情報センター室長)さんから教えていただきました。女性薬委員で試行錯誤の結果のレシピです

日常生活の中で、自分の気持ちが良く伝わらなかったり、又相手の事がよく理解できないことがあります。人には各々、癖がありますが、現象をどう受け止めるかという癖もあるようです。

自分の癖を分析してみると、相手のこともいくらかは理解できるかもしれません。
忙しい毎日、一日の終わりにちょっぴり試してみてはいかがでしょうか？ (島田)

<明日から使える調剤のチェックポイント>

Vol.4 粉砕のある処方

日本女性薬剤師会副会長 近藤由利子著



同じ成分で散、末、顆粒はないか？
粉砕にあたって製剤学的な問題はないか？
脱カプセルの場合も同様のチェック

処方 錠 5mg 3 / 4錠 1日1回 30日分

粉砕・分包の後もPTPシートは捨てずに必ず監査まで一緒にまわす
粉砕した医薬品の名前、量をチェックするために必要

字余り煎溜 (安薬版)
桜は満開
出不精が邪魔をする
静を求め 戻った途端
出かけたくなる
ストレスケアのポランテイヤ
ストレス胃炎なり
(野咲花子作)

薬理学ワンポイント講座 (徳淵)

薬の作用点には、受容体・イオンチャネル・酵素があります。
代表的なものを上げてみます。

1. 受容体 (は省きます)
 - ・ D2 ドパミン受容体 塩酸クロルプロマジン (遮断作用による抗精神病効果)
 - ・ μオピオイド受容体 モルヒネ (刺激作用による鎮痛効果)
2. イオンチャネル
 - ・ ナトリウムイオンチャネル - リドカイン (阻害作用による抗不整脈又は局所麻痺作用)
 - ・ クロールイオンチャネル - ジアゼパム (活性化作用による抗不安作用)
3. 酵素
 - ・ ホスホジエステラーゼ - テオフィリン (阻害作用による気管支拡張、抗喘息効果)
 - ・ シクロオキシゲナーゼ - アスピリン (阻害作用による解熱鎮痛消炎効果)
 - ・ H⁺, K⁺ ATPase - オメプラール (阻害作用による胃酸分泌抑制、抗潰瘍効果)

薬の作用を考えると
相互作用の把握や服薬指導に役立つと思われます

九州山口薬学大会の受付を女性薬が担当することになりました。
皆様をお願いすることになると思います。
よろしくお願いいたします。

学会 大会部 田中須磨代

